

## 2020年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月26日

上場会社名 株式会社 ヨシタケ

上場取引所 東

コード番号 6488 URL <http://www.yoshitake.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 哲

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長兼経理部長 (氏名) 島 勝彦

TEL 052-881-7146

定時株主総会開催予定日 2020年6月29日

配当支払開始予定日

2020年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2020年6月29日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	6,983	0.3	608	0.9	907	10.3	721	0.0
2019年3月期	7,008	3.2	602	13.1	822	2.9	721	11.5

(注) 包括利益 2020年3月期 516百万円 ( 35.4%) 2019年3月期 799百万円 ( 8.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	113.08		6.3	6.8	8.7
2019年3月期	113.11		6.6	6.3	8.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 341百万円 2019年3月期 201百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	13,556	11,606	85.1	1,807.36
2019年3月期	13,279	11,316	84.7	1,762.06

(参考) 自己資本 2020年3月期 11,535百万円 2019年3月期 11,246百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	1,395	305	288	2,329
2019年3月期	523	4	274	1,548

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額(合計)	配当性向(連結)	純資産配当率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期		0.00		34.00	34.00	216	30.1	1.9
2020年3月期		0.00		34.00	34.00	216	30.1	1.9
2021年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00		51.1	

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	19.1	20	93.1	120	72.0	100	69.9	15.67
通期	5,600	19.8	60	90.1	300	67.0	250	65.4	39.17

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、[添付資料] P. 13'3. 連結財務諸表及び主な注記(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期	6,967,473 株	2019年3月期	6,967,473 株
期末自己株式数	2020年3月期	585,134 株	2019年3月期	585,134 株
期中平均株式数	2020年3月期	6,382,339 株	2019年3月期	6,382,339 株

(参考)個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	5,973	0.9	226	65.8	520	27.3	436	1.3
2019年3月期	5,918	4.4	136	46.4	408	14.0	442	9.2

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	68.44	
2019年3月期	69.35	

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	11,419	9,680	84.8	1,516.80
2019年3月期	11,230	9,482	84.4	1,485.74

(参考) 自己資本 2020年3月期 9,680百万円 2019年3月期 9,482百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
第2四半期(累計)	2,400	19.4	40	87.0	30	90.2	円 銭
通期	4,800	19.7	70	86.6	40	90.8	4.70
							6.27

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、[添付資料] P. 3'1. 経営成績等の概況(4)今後の見通しをご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
連結損益計算書 .....	6
連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項) .....	12
(会計方針の変更) .....	13
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	18
(重要な後発事象) .....	18
4. 個別財務諸表及び主な注記 .....	19
(1) 貸借対照表 .....	19
(2) 損益計算書 .....	21
(3) 株主資本等変動計算書 .....	22
(4) 個別財務諸表に関する注記事項 .....	24
(継続企業の前提に関する注記) .....	24

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国の経済は、前半は政府の経済政策や日銀の金融緩和政策などを背景に、家計部門においては雇用・所得環境の改善が持続し、良好な所得環境に支えられて個人消費も緩やかな回復傾向が続きました。企業部門においては、企業収益は一進一退の動きで推移したものの、設備投資は省力化やデジタル化に向けたソフトウェア投資を中心に増加基調が継続しました。年度後半においては、消費税増税による個人消費の落ち込みが懸念されたものの、軽減税率の導入や幼児教育・保育の無償化などの負担軽減策により大きな落ち込みは回避され、企業部門においても緩やかな増加基調が継続していたものの、2020年に入り新型コロナウイルスの感染拡大が徐々に深刻化したことから、インバウンドも含めた消費活動全体の冷え込みや企業活動の停滞などで経済情勢は激変し、国内景気は大きく落ち込みました。

今後については、新型コロナウイルス感染拡大防止のための様々な措置により経済活動は制約されることが見込まれるため、先行きが見通せない状況となっております。海外経済においても新型コロナウイルスの世界的な大流行の影響により景気が急速に落ち込んでおり、当面感染症の影響が続くと見込まれるため先行きについては不透明な状況となっております。

当社グループにおきましては、国内外のマーケットへ向け営業活動を強化してまいりました結果、国内顧客向け販売においては、オリンピック関連も含めた都心再開発計画などにより活発化している建築設備市場において受注を増やし、その他の国内市場においてもおおむね堅調に推移しました。一方、海外顧客向け販売においては、特に北米地域で販売を伸ばしたものの、米中貿易摩擦の影響により夏頃から中国およびASEAN地域において販売の鈍化傾向が見られ、年度後半にかけては新型コロナウイルスの感染拡大により中国向けの販売が大きく落ち込み、販売活動全体としては前期を下回る推移となりました。今後については、更なる海外販路の拡大を目指すとともに、より積極的な提案型営業を推進し、受注率の向上に努めてまいります。また、生産活動の合理化やコストダウンを強力に進め、経営の効率化と業績の向上に努めてまいります。

この結果、連結売上高は69億83百万円（前期比0.3%減）となりました。

セグメント毎の売上高（セグメント間の内部取引高を含む）は以下のとおりであります。

日 本： 65億91百万円（前期比 0.6%増）

東南アジア： 19億28百万円（前期比10.9%減）

損益面では、生産の効率化、工数低減やコスト削減を徹底したことにより、セグメント利益（セグメント間の内部取引高を含む）は以下の通りとなりました。

日 本： 3億92百万円（前期比23.6%増）

東南アジア： 1億71百万円（前期比42.7%減）

また、経常利益は9億7百万円（前期比10.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は7億21百万円（前期比0.0%減）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### （流動資産）

当連結会計年度末における流動資産の残高は、77億47百万円となり前連結会計年度末と比較して4億39百万円の増加となりました。主に、たな卸資産が2億16百万円減少したものの、現金及び預金が7億80百万円増加したことなどによりです。

#### （固定資産）

当連結会計年度末における固定資産の残高は、58億8百万円となり前連結会計年度末と比較して1億62百万円の減少となりました。主に、有形固定資産が2億27百万円減少したことなどによりです。

#### （流動負債）

当連結会計年度末における流動負債の残高は、11億27百万円となり前連結会計年度末と比較して63百万円の減少となりました。主に、未払法人税等が35百万円、未払消費税等が38百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が1億59百万円減少したことなどによりです。

#### （固定負債）

当連結会計年度末における固定負債の残高は、8億22百万円となり前連結会計年度末と比較して50百万円の増加となりました。主に退職給付に係る負債が40百万円減少したものの、リース債務が79百万円増加したことなどによりです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産の残高は、116億6百万円となり前連結会計年度末と比較して2億89百万円の増加となりました。主に配当金の支払2億16百万円を実施いたしました。親会社株主に帰属する当期純利益7億21百万円を計上したことにより利益剰余金が前連結会計年度末と比較して5億4百万円増加したことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは13億95百万円の収入となり、前期の5億23百万円の収入に比べて8億71百万円の収入の増加となりました。その主な内容は、仕入債務の増減額が前期に比べて2億17百万円減少したことなどの減少要因があった一方で、固定資産除売却益が前期に比べて1億15百万円減少したこと、売上債権の増減額が前期に比べて2億61百万円減少したこと、たな卸資産の増減額が前期に比べて4億71百万円減少したことなどの増加要因があったことによります。

投資活動によるキャッシュ・フローは3億5百万円の支出となり、前期の4百万円の収入に比べて3億10百万円の支出の増加となりました。その主な内容は、有形固定資産の取得による支出が前期に比べて1億58百万円減少したこと、投資有価証券の取得による支出が前期に比べて4億16百万円減少したことなどの減少要因があった一方で、有価証券の償還による収入5億円や投資有価証券の償還による収入2億24百万円が当期発生しなかったことなどの増加要因があったことなどによります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2億88百万円の支出となり、前期の2億74百万円の支出に比べて14百万円の支出の増加となりました。その主な内容は、配当金の支払額が前期に比べて12百万円増加したことなどの増加要因があったことによります。

これらに為替換算差額を合わせました結果、現金及び現金同等物は前連結会計年度末に比べ7億80百万円増加し、23億29百万円となりました。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が続いており、感染防止に伴う人やモノの移動制限によって、消費の冷え込みや設備投資の停滞など、国内外の経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念され、今後の世界経済の見通しについては予測不能であります。現時点までの引き合いの状況が期末まで続くと想定した場合、連結売上高は56億円(当期比19.8%減)を予想しております。

損益面におきましても、連結子会社、関連会社ともに世界的な景気減速の影響が予測され、経常利益3億円(当期比67.0%減)、親会社株主に帰属する当期純利益2億50百万円(当期比65.4%減)を予想しております。

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する配当額の決定は最重要政策のひとつと考えており、基本的には利益に対応して配当性向30%以上を目標に配当額を決定する方針であります。

内部留保につきましては、将来にわたる株主の利益を確保するため、開発、生産、販売競争力の維持強化を目的とする設備の新設、増設、更新等の中長期視点にたつての投資等に充当させていただくとともに、会社の財産の状況および株価の状況等を考慮したうえで自己株式の買受けを行い、株主への利益還元をはかる予定であります。

当期の配当額につきましては、業績を勘案し、前期と同様、1株当たり34円とさせていただきます。

次期の配当額につきましては、次期の業績予想を勘案し、当期の配当金に比べて14円減配とし、1株当たり20円とさせていただきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、将来のIFRS適用に備え、規定、マニュアル等の整備およびその適用時期について検討を進めております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,583,912	2,364,750
受取手形及び売掛金	2,573,167	2,528,268
商品及び製品	1,266,261	1,225,993
仕掛品	769,103	682,100
原材料及び貯蔵品	907,237	817,955
その他	208,860	128,639
貸倒引当金	△283	△160
流動資産合計	7,308,259	7,747,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,995,985	2,948,593
減価償却累計額	△1,704,448	△1,770,788
建物及び構築物(純額)	1,291,537	1,177,804
機械装置及び運搬具	3,579,171	3,548,888
減価償却累計額	△2,018,167	△2,137,318
機械装置及び運搬具(純額)	1,561,003	1,411,570
土地	788,565	777,389
リース資産	127,036	134,920
減価償却累計額	△96,718	△26,040
リース資産(純額)	30,318	108,879
建設仮勘定	36,736	19,291
その他	1,057,049	1,102,068
減価償却累計額	△959,789	△1,019,429
その他(純額)	97,260	82,639
有形固定資産合計	3,805,421	3,577,574
無形固定資産		
その他	55,351	72,821
無形固定資産合計	55,351	72,821
投資その他の資産		
投資有価証券	1,650,263	1,696,184
長期貸付金	2,650	971
繰延税金資産	182,099	165,448
その他	275,605	295,569
投資その他の資産合計	2,110,618	2,158,174
固定資産合計	5,971,390	5,808,570
資産合計	13,279,650	13,556,119

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年 3 月31日)	当連結会計年度 (2020年 3 月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	728,368	568,927
1年内返済予定の長期借入金	19,120	-
リース債務	29,516	28,665
未払法人税等	60,051	95,609
未払消費税等	29,559	67,715
賞与引当金	163,504	163,966
その他	160,789	202,314
流動負債合計	1,190,908	1,127,198
固定負債		
リース債務	9,867	89,080
役員退職慰労引当金	276,659	288,371
退職給付に係る負債	455,954	415,332
資産除去債務	30,002	30,053
固定負債合計	772,483	822,838
負債合計	1,963,391	1,950,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金	2,657,905	2,657,905
利益剰余金	6,787,825	7,292,526
自己株式	△454,777	△454,777
株主資本合計	10,899,628	11,404,329
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48,751	25,791
繰延ヘッジ損益	△1,375	-
為替換算調整勘定	299,027	105,072
その他の包括利益累計額合計	346,404	130,863
非支配株主持分	70,226	70,888
純資産合計	11,316,259	11,606,081
負債純資産合計	13,279,650	13,556,119

( 2 ) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
( 連結損益計算書 )

( 単位 : 千円 )

	前連結会計年度 ( 自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月 31 日 )	当連結会計年度 ( 自 2019年 4 月 1 日 至 2020年 3 月 31 日 )
売上高	7,008,188	6,983,838
売上原価	4,232,876	4,208,222
売上総利益	2,775,311	2,775,615
販売費及び一般管理費	2,172,470	2,167,495
営業利益	602,841	608,120
営業外収益		
受取利息	43,908	41,350
受取配当金	3,330	3,639
持分法による投資利益	201,261	341,036
その他	20,760	14,490
営業外収益合計	269,260	400,517
営業外費用		
支払利息	944	2,327
売上割引	10,307	10,972
固定資産除売却損	321	674
為替差損	30,966	81,136
その他	6,655	5,557
営業外費用合計	49,195	100,669
経常利益	822,906	907,967
特別利益		
固定資産売却益	115,201	-
投資有価証券償還益	4,669	-
特別利益合計	119,871	-
特別損失		
会員権評価損	-	1,449
特別損失合計	-	1,449
税金等調整前当期純利益	942,777	906,517
法人税、住民税及び事業税	155,848	148,542
法人税等調整額	53,625	25,612
法人税等合計	209,474	174,154
当期純利益	733,303	732,362
非支配株主に帰属する当期純利益	11,425	10,661
親会社株主に帰属する当期純利益	721,877	721,701



(連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	733,303	732,362
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,196	△22,960
繰延ヘッジ損益	△1,375	1,375
為替換算調整勘定	98,375	△168,216
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,599	△25,738
その他の包括利益合計	66,203	△215,540
包括利益	799,506	516,822
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	788,080	506,160
非支配株主に係る包括利益	11,425	10,661

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,908,674	2,657,905	6,270,182	△454,776	10,381,986
当期変動額					
剰余金の配当			△204,234		△204,234
親会社株主に帰属する当期純利益			721,877		721,877
自己株式の取得				△1	△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	517,642	△1	517,641
当期末残高	1,908,674	2,657,905	6,787,825	△454,777	10,899,628

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	70,948	—	209,252	280,200	68,800	10,730,988
当期変動額						
剰余金の配当						△204,234
親会社株主に帰属する当期純利益						721,877
自己株式の取得						△1
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,196	△1,375	89,775	66,203	1,425	67,629
当期変動額合計	△22,196	△1,375	89,775	66,203	1,425	585,270
当期末残高	48,751	△1,375	299,027	346,404	70,226	11,316,259

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,908,674	2,657,905	6,787,825	△454,777	10,899,628
当期変動額					
剰余金の配当			△216,999		△216,999
親会社株主に帰属する当期純利益			721,701		721,701
自己株式の取得				-	-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	-	-	504,701	-	504,701
当期末残高	1,908,674	2,657,905	7,292,526	△454,777	11,404,329

	その他の包括利益累計額				非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	48,751	△1,375	299,027	346,404	70,226	11,316,259
当期変動額						
剰余金の配当						△216,999
親会社株主に帰属する当期純利益						721,701
自己株式の取得						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,960	1,375	△193,955	△215,540	661	△214,878
当期変動額合計	△22,960	1,375	△193,955	△215,540	661	289,822
当期末残高	25,791	-	105,072	130,863	70,888	11,606,081

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	942,777	906,517
減価償却費	435,139	459,232
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,007	462
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	13,150	11,712
貸倒引当金の増減額(△は減少)	53	△123
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△39,361	△38,797
受取利息及び受取配当金	△47,238	△44,989
支払利息	944	2,327
為替差損益(△は益)	22,085	53,580
持分法による投資損益(△は益)	△24,086	△104,164
固定資産除売却損益(△は益)	△115,201	-
投資有価証券償還損益(△は益)	△4,669	-
売上債権の増減額(△は増加)	△228,813	32,815
たな卸資産の増減額(△は増加)	△303,048	168,249
仕入債務の増減額(△は減少)	64,357	△153,248
その他	△9,819	182,208
小計	710,275	1,475,782
利息及び配当金の受取額	30,038	37,866
利息の支払額	△944	△2,327
法人税等の支払額	△215,941	△116,088
営業活動によるキャッシュ・フロー	523,427	1,395,232
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△35,159	△35,162
定期預金の払戻による収入	35,156	35,160
有形固定資産の取得による支出	△345,108	△186,872
有形固定資産の売却による収入	119,266	519
無形固定資産の取得による支出	△3,154	△33,940
有価証券の償還による収入	500,000	-
投資有価証券の取得による支出	△467,984	△51,864
投資有価証券の償還による収入	224,449	-
その他の支出	△29,990	△43,697
その他の収入	7,524	10,400
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,998	△305,456

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△28,560	△19,120
自己株式の取得による支出	△1	-
配当金の支払額	△204,234	△216,999
非支配株主への配当金の支払額	△10,000	△10,000
リース債務の返済による支出	△31,435	△42,662
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,231	△288,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,678	△20,158
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	266,872	780,835
現金及び現金同等物の期首残高	1,281,861	1,548,734
現金及び現金同等物の期末残高	1,548,734	2,329,569

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 3社

主要な連結子会社の名称

ヨシタケ・ワークス・タイランド

カワキ計測工業㈱

ヨシタケ・アームストロング㈱

2. 持分法の適用に関する事項

(1) 持分法適用の関連会社数 2社

主要な会社名

アームストロング・ヨシタケ

エバーラスティング・バルブ

(2) 持分法の適用会社のうち、決算日が連結決算日と異なる会社については、各社の直近の事業年度に係る財務諸表を使用しております。

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

すべての連結子会社の事業年度の末日は、連結決算日と一致しております。

4. 会計方針に関する事項

(1) 重要な資産の評価基準及び評価方法

(イ) 有価証券

その他有価証券

時価のあるもの

連結決算日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

時価のないもの

移動平均法による原価法

(ロ) デリバティブ

時価法

(ハ) たな卸資産

① 商品及び製品、仕掛品、原材料

主として総平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

② 貯蔵品

主として最終仕入原価法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

(2) 重要な減価償却資産の減価償却の方法

(イ) 有形固定資産(リース資産を除く)

当社および国内連結子会社は定率法

ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)ならびに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備および構築物については、定額法によっております。

在外連結子会社は定額法

なお、主な耐用年数は建物10年~50年、機械装置12年であります。

(ロ) 無形固定資産(リース資産を除く)

定額法

(ハ) リース資産

所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 重要な引当金の計上基準

(イ) 貸倒引当金

当社および国内連結子会社は債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(ロ) 賞与引当金

当社および国内連結子会社は従業員の賞与の支出に備えるため、支給見込額基準により計上しております。

(ハ) 役員退職慰労引当金

当社は役員の退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく連結会計年度末要支給額を計上しております。

(4) 退職給付に係る会計処理の方法

従業員の退職給付に備えるため、連結会計年度末における退職給付債務（当社は自己都合要支給額、国内連結子会社は自己都合要支給額から中小企業退職金共済より支給される金額を控除した額、在外連結子会社は所在地の制度に基づき計算された期末要支給額）および年金資産に基づき計上しております。

(5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として処理しております。

なお、在外子会社の資産および負債は、連結決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益および費用は期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めて計上しております。

また、在外関連会社の資産および負債は、各社の決算日の直物為替相場により円貨に換算し、収益および費用は各社の決算期における期中平均相場により円貨に換算し、換算差額は純資産の部における為替換算調整勘定に含めて計上しております。

(6) 重要なヘッジ会計の方法

(イ) ヘッジ会計の方法

繰延ヘッジ処理によっております。

(ロ) ヘッジ手段とヘッジ対象

ヘッジ手段…コモディティスワップ

ヘッジ対象…原材料

(ハ) ヘッジ方針

当社におけるデリバティブ取引のリスク管理方針に基づき、原材料購入価額変動リスクを一定の範囲内でヘッジする目的でデリバティブ取引を行っております。

(ニ) ヘッジ有効性評価の方法

ヘッジ開始時から有効性判定時点までの期間において、ヘッジ対象とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計を比較し、両者の変動額等を基礎にしてヘッジ有効性を評価しております。

(7) 連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

手許現金、随時引き出し可能な預金および取得日から3カ月以内に満期の到来する流動性の高い、価値の変動について僅少なリスクしか負わない短期投資からなります。

(8) その他連結財務諸表作成のための重要な事項

消費税等の会計処理

税抜方式を採用しております。

(会計方針の変更)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当連結会計年度より、国際財務報告基準第16号「リース」（以下「IFRS第16号」という。）を適用しております。これにより、リースの借手は、原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産および負債として計上することとしました。IFRS第16号の適用については、経過的な取扱いに従っております。

この結果、当連結会計年度の「リース資産」が20,332千円増加し、流動負債の「リース債務」が9,612千円および固定負債の「リース債務」が11,210千円増加しております。当連結会計年度の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、自動調整弁を主に生産・販売しており、国内においては当社、カワキ計測工業㈱およびヨシタケ・アームストロング㈱が、海外においては東南アジア（タイ）でヨシタケ・ワークス・タイランドが担当しております。国内での事業においてはグループが一体となって同一の事業セグメントの中で生産から販売まで一貫した包括的な経営計画を立案し、事業活動を展開しており、海外においてはヨシタケ・ワークス・タイランドが独立した経営体として、当社の販売計画と連携した独自の生産計画を立案し、国内への供給を行っております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「東南アジア」の2つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、同一の事業セグメントに属する自動調整弁等を生産・販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部売上高又は振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2018年4月1日 至 2019年3月31日）

(単位：千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,435,595	572,592	7,008,188
セグメント間の内部売上高 又は振替高	113,167	1,591,878	1,705,046
計	6,548,763	2,164,471	8,713,234
セグメント利益	317,417	298,230	615,647
セグメント資産	7,896,826	4,328,649	12,225,476
その他の項目			
減価償却費	195,554	239,584	435,139
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	140,300	272,026	412,326



当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	日本	東南アジア	合計
売上高			
外部顧客への売上高	6,506,861	476,976	6,983,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	84,250	1,451,938	1,536,189
計	6,591,112	1,928,914	8,520,027
セグメント利益	392,362	171,026	563,388
セグメント資産	8,143,982	4,065,582	12,209,565
その他の項目			
減価償却費	191,602	267,629	459,232
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	210,434	127,767	338,201

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	615,647	563,388
棚卸資産の調整額	△12,806	44,731
連結財務諸表の営業利益	602,841	608,120

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	12,225,476	12,209,565
セグメント間取引消去	△759,879	△535,201
全社資産(注)	1,814,053	1,881,755
連結財務諸表の資産合計	13,279,650	13,556,119

(注) 全社資産は主に報告セグメントに帰属しない当社での長期投資資金(投資有価証券等)であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高 (単位: 千円)

日本	アジア	その他	合計
5,174,666	1,506,163	327,358	7,008,188

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産 (単位: 千円)

日本	アジア	合計
1,259,740	2,545,680	3,805,421

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社オータケ	761,969	日本

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

1. 製品およびサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高 (単位: 千円)

日本	アジア	その他	合計
5,341,349	1,292,472	350,016	6,983,838

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産 (単位: 千円)

日本	アジア	合計
1,269,491	2,308,082	3,577,574

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社オータケ	778,710	日本

**【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】**

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】**

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

**【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】**

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
1株当たり純資産額	1,762円6銭	1,807円36銭
1株当たり当期純利益	113円11銭	113円8銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度末 (2019年3月31日)	当連結会計年度末 (2020年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	11,316,259	11,606,081
純資産の部の合計額から控除する金額 (千円)	70,226	70,888
(うち非支配株主持分(千円))	(70,226)	(70,888)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	11,246,032	11,535,193
1株当たり純資産額の算定に用いられた 期末の普通株式の数(株)	6,382,339	6,382,339

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	721,877	721,701
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当 期純利益(千円)	721,877	721,701
期中平均株式数(株)	6,382,339	6,382,339

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	988,516	1,568,229
受取手形	456,091	455,805
電子記録債権	565,508	617,252
売掛金	1,325,347	1,288,978
製品	865,786	790,077
仕掛品	438,896	353,787
原材料及び貯蔵品	458,761	409,030
前払費用	29,397	30,613
関係会社短期貸付金	160,000	60,000
その他	183,807	112,664
流動資産合計	5,472,114	5,686,441
固定資産		
有形固定資産		
建物	275,476	264,438
構築物	7,176	6,368
機械及び装置	166,854	152,063
車両運搬具	7,072	9,414
工具、器具及び備品	73,446	60,034
土地	362,308	362,308
リース資産	27,866	84,003
建設仮勘定	10,483	13,399
有形固定資産合計	930,685	952,031
無形固定資産		
商標権	145	85
ソフトウェア	36,228	61,838
リース資産	5,275	-
電話加入権	6,895	6,895
ソフトウェア仮勘定	3,765	-
無形固定資産合計	52,309	68,818
投資その他の資産		
投資有価証券	937,963	906,593
関係会社株式	3,205,323	3,205,323
従業員に対する長期貸付金	2,280	971
関係会社長期貸付金	120,000	60,000
長期前払費用	18,679	19,482
繰延税金資産	250,924	259,747
会員権	37,998	36,548
保険積立金	159,787	180,766
その他	42,712	42,364
投資その他の資産合計	4,775,670	4,711,798
固定資産合計	5,758,665	5,732,648
資産合計	11,230,779	11,419,089

(単位:千円)

	前事業年度 (2019年3月31日)	当事業年度 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	136,521	94,548
電子記録債務	268,734	266,635
買掛金	267,394	216,186
リース債務	28,276	17,079
未払金	79,631	60,091
未払費用	67,412	63,368
未払法人税等	12,076	64,580
未払消費税等	23,525	57,294
前受金	57	260
預り金	9,484	9,711
デリバティブ債務	1,977	-
賞与引当金	144,953	146,180
流動負債合計	1,040,045	995,936
固定負債		
リース債務	8,429	75,110
退職給付引当金	393,128	348,908
役員退職慰労引当金	276,659	288,371
資産除去債務	30,002	30,053
固定負債合計	708,220	742,445
負債合計	1,748,266	1,738,381
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,908,674	1,908,674
資本剰余金		
資本準備金	2,657,539	2,657,539
その他資本剰余金	366	366
資本剰余金合計	2,657,905	2,657,905
利益剰余金		
利益準備金	142,525	142,525
その他利益剰余金		
固定資産圧縮積立金	6,558	6,134
繰越利益剰余金	5,174,248	5,394,453
利益剰余金合計	5,323,333	5,543,113
自己株式	△454,777	△454,777
株主資本合計	9,435,136	9,654,916
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,751	25,791
繰延ヘッジ損益	△1,375	-
評価・換算差額等合計	47,376	25,791
純資産合計	9,482,512	9,680,708
負債純資産合計	11,230,779	11,419,089

( 2 ) 損益計算書

( 単位 : 千円 )

	前事業年度 ( 自 2018年 4 月 1 日 至 2019年 3 月 31 日 )	当事業年度 ( 自 2019年 4 月 1 日 至 2020年 3 月 31 日 )
売上高	5,918,866	5,973,968
売上原価	3,957,131	3,897,735
売上総利益	1,961,734	2,076,233
販売費及び一般管理費	1,825,164	1,849,783
営業利益	136,570	226,449
営業外収益		
受取利息	5,233	4,098
有価証券利息	43,297	40,683
受取配当金	230,407	310,431
受取賃貸料	3,269	3,287
その他	16,253	18,240
営業外収益合計	298,460	376,741
営業外費用		
支払利息	626	722
売上割引	9,630	10,223
為替差損	9,342	65,873
試作品処分損	4,071	-
その他	2,378	5,566
営業外費用合計	26,049	82,386
経常利益	408,981	520,805
特別利益		
投資有価証券償還益	4,669	-
子会社清算益	104,854	-
特別利益合計	109,524	-
特別損失		
会員権評価損	-	1,449
特別損失合計	-	1,449
税引前当期純利益	518,505	519,355
法人税、住民税及び事業税	74,258	81,943
法人税等調整額	1,621	631
法人税等合計	75,880	82,575
当期純利益	442,625	436,779

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金		利益剰余金 合計
		資本準備金	その他資本 剰余金	資本剰余金 合計		固定資産圧 縮積立金	繰越利益剰 余金	
当期首残高	1,908,674	2,657,539	366	2,657,905	142,525	7,009	4,935,406	5,084,942
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の 取崩						△451	451	—
剰余金の配当							△204,234	△204,234
当期純利益							442,625	442,625
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)								
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△451	238,841	238,390
当期末残高	1,908,674	2,657,539	366	2,657,905	142,525	6,558	5,174,248	5,323,333

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額 等合計	
当期首残高	△454,776	9,196,746	70,948	—	70,948	9,267,695
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の 取崩		—				—
剰余金の配当		△204,234				△204,234
当期純利益		442,625				442,625
自己株式の取得	△1	△1				△1
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)			△22,196	△1,375	△23,572	△23,572
当期変動額合計	△1	238,389	△22,196	△1,375	△23,572	214,817
当期末残高	△454,777	9,435,136	48,751	△1,375	47,376	9,482,512



当事業年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本							
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金		利益剰余金合計
					固定資産圧縮積立金	繰越利益剰余金		
当期首残高	1,908,674	2,657,539	366	2,657,905	142,525	6,558	5,174,248	5,323,333
当期変動額								
固定資産圧縮積立金の取崩						△424	424	-
剰余金の配当							△216,999	△216,999
当期純利益							436,779	436,779
自己株式の取得								
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)								
当期変動額合計	-	-	-	-	-	△424	220,204	219,780
当期末残高	1,908,674	2,657,539	366	2,657,905	142,525	6,134	5,394,453	5,543,113

	株主資本		評価・換算差額等			純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計	
当期首残高	△454,777	9,435,136	48,751	△1,375	47,376	9,482,512
当期変動額						
固定資産圧縮積立金の取崩			-			-
剰余金の配当		△216,999				△216,999
当期純利益		436,779				436,779
自己株式の取得						-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△22,960	1,375	△21,584	△21,584
当期変動額合計	-	219,780	△22,960	1,375	△21,584	198,195
当期末残高	△454,777	9,654,916	25,791	-	25,791	9,680,708

(4) 個別財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。